

2010年度

科目名	ゼミナール I				
担当教員	岡島 克樹				
配当	人社3			コード	33730
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数	4
授業テーマ	国内外の社会課題の原因と解決・緩和の取り組みについて学ぶ				
目的と概要	ゼミ生それぞれが地域研究実習で選択したトピックについて、さらに幅広く深い知識と理解を得るために、文献読解を行う。また、自分が理解した内容を他の人と共有するためのコミュニケーション能力を高めるために可能な限り多く発表の機会を設ける。				
成績評価法	ゼミへの貢献(他のゼミ生の発表への質問等)50%、発表50%				
テキスト	とくに定めない。				
参考書	適宜、紹介する。				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
<p><前期> 本年度前期のゼミでは、地域研究実習の実習先との関連で、各ゼミ生の興味関心に応じて、以下の3つのグループに属し、共同で文献を探するなどしつつ、個人課題に取り組む。</p> <p>(1)国内スタディツアー班： 日本国内にある社会課題、とりわけ、本年度は地方の地域振興というテーマに着目し、どのような問題がいかなる要因に基づき発生しているのか、また、それに対して行政や市民社会（NPOなど）はどのように対応してきているのかについて、文献調査を行うとともに、個人でレジュメを作成し、発表する。</p> <p>(2)富田林市役所班： 富田林にある社会課題に注目して、共同で文献調査を行うとともに（富田林独自の文献がない場合は、関心ある分野の政府方針などにかかる文献を読む）、個人でレジュメを作成して、発表する。</p> <p>(3)カンボジアスタディツアー班： カンボジアの歴史や社会経済状況、行政・政治システムについて、文献調査を行うとともに、今年子どもたちの貧困に関する授業をカンボジアで行う予定であるので、その準備を行う。</p> <p>1回目：ゼミオリエンテーション 2回目：図書館の利用方法 3回目：レジュメ作成方法解説 4回目：発表（1回目） 5回目：発表（2回目） 6回目：発表（3回目） 7回目：発表（4回目） 8回目：発表（5回目） 9回目：発表（6回目） 10回目：発表（7回目） 11回目：発表（8回目） 12回目：上級生によるレクチャー（カンボジア編） 13回目：上級生によるレクチャー（市役所編） 14回目：上級生によるレクチャー（一般企業編） 15回目：まとめ</p> <p>なお、岡島ゼミでは、スタディツアー（国内・海外双方）型の地域研究実習を行ったゼミ生には、もう一つ、一般企業でのインターンシップを経験してもらうことにしている。</p> <p><後期> 後期では、夏に出かけてきた地域研究実習に関して、学外での発表（ワンワールドフェスティバルや三大学合同報告会など）、学内での発表（ゼミ、大阪大谷大学人間社会学会など）の機会を設けるので、積極的に活用してください。また、問題分析力や企画力を鍛えるPCM（プロジェクトサイクルマネジメント）手法を鍛えるセッションも行う。</p> <p>1回目：後期イントロダクション 2回目：PCMの基本ステップ 3回目：事例1（多文化共生推進） 4回目：事例1（つづき） 5回目：事例1（つづき） 6回目：事例2（生涯学習） 7回目：事例2（つづき） 8回目：事例2（つづき） 9回目：地域研究実習に関するゼミ内発表会</p>					

- 10回目：グループディスカッションの方法解説と実践（他のゼミと共同 その1）
- 11回目：グループディスカッションの実践（他のゼミと共同 その2）
- 12回目：卒論テーマ発表（その1）
- 13回目：卒論テーマ発表（その2）
- 14回目：卒論テーマ発表（その3）
- 15回目：まとめ

なお、上記のほか、例年、2月または3月にゼミ卒論開始合宿を開催している。かならず参加するようにしてください。